

一般質問通告内容

(令和8年定例会9月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	1. アイヌの歴史と施策の在り方について (1) アイヌ施策と歴史認識について アイヌ施策を考える上では、正しい歴史認識が不可欠であるが、松前藩の場所請負制による加害、明治政府の同化政策と迫害、旧土人保護法の構造的差別など、これらは歴史的事実であるにもかかわらず、施策の前提として十分に位置付けられてきたとは言えません。 こうした歴史的核心が施策に十分に位置付けられてこなかった状況について、町としてどのように認識しているのか伺います。 (2) 副読本について アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第4条は差別の禁止を、第5条は国及び地方公共団体の責務を明確に定めています。 白老町教育委員会の小学校社会科副読本のアイヌの歴史に関する記述不足は単なる教材の問題ではなく、差別や誤情報を誘発しうる人権上の重要な課題であると考えますが、正しい歴史教育の在り方について認識を伺います。 (3) ヘイトスピーチ・レイシャルハラスメントについて 近年、SNS等で「アイヌは先住民族ではない」とする誤った情報が拡散し、差別やヘイトスピーチの温床となっています。 理念だけでは名誉回復の実効性が確保されません。行政が構造的に対応しなければ、現場の人権侵害は止まりません。 町民の安全を守る観点から、どのような認識を持たれているか伺います。 (4) 名誉回復と歴史の保存について 白老町アイヌ施策基本方針には理念(目的)として「先人の尊厳と労苦の歴史を振り返り、未来を見据え、アイヌ民族としての誇りを高める」とあります。しかし、その理念の核心となるべき加害の歴史、蝦夷地防衛における主体的役割、明治政府の迫害、歴史的矛盾、こうした具体的事実が十分に記載されていないと認識しています。

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	白老の歴史は地域史ではなく、日本国家の形成過程と深く結びついた歴史であり、その記録は日本史の空白を補う行為であります。 この視点を踏まえれば、名誉回復の核心となる歴史的事実が基本方針に十分に明示されていない現状は、理念と整合しているとは言えないと考えますが、認識を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	1. 漁業振興と白老港について (1) 第1、第2、第3商港区の現状と貨物取扱量及び今後の取組について (2) 白老港公共中央1号上屋(倉庫)の利用状況・使用料と空き状況及び今後の見通しについて (3) 港湾の利用促進策と整備計画について (4) 水産業の概況と主要魚種の生産高の推移について (5) 水産振興策の現状と今後の施策について (6) 漁港区について ① 白老地区の漁家数・漁船数の推移と利用状況について ② 岸壁・ふ頭用地等の不法占拠、無断使用の実態と対応について ③ 岸壁(物揚場)等施設のこれまでの整備状況と未整備箇所について ④ 今後の漁港区整備計画について 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
3	田上 治彦 (議席番号 2番)	1. 地震災害時の断水における町内の給水対応について (1) 町内の浄水場3施設はいずれも老朽化が懸念されるが、現在の耐震性について伺います。 (2) 断水時の一刻も早い断水解消のための応急復旧の体制について伺います。 (3) 断水時において応急給水は必要不可欠な対応ですが、町内に配備されている給水タンク車等の配置、活動体制（臨時給水所の設営や避難所等）について伺います。 (4) 断水時に応援・協力を要請することができる関係機関について伺います。 (5) 震災時における町職員（上下水道課）の初動体制について伺います。 (6) 断水時において火災が発生した場合の消火活動への影響と対策について伺います。 (7) 災害に強く持続可能な水道システムを構築するため、町としての水道施設の耐震化の計画と取組状況について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
4	長谷川かおり (議席番号 4番)	1. ライフステージに応じた包括的な支援体制の構築について (1) 子宮頸がんを減らすための切れ目のない予防対策について ① HPVワクチン接種及び子宮頸がん検診の現状と課題について伺います。 ② HPVワクチン接種の機会確保と環境整備について伺います。 ③ 本人、保護者への情報提供と相談支援について伺います。 (2) 「しらおいサポートセンター」を核とした重層的支援体制整備事業について ① 本年6月15日に開設した「しらおいサポートセンター」の役割とこれまでの相談状況、成果について伺います。 ② 複雑化・複合化した課題を抱える方に対し、関係部署や関係機関がどのように連携し伴走型の支援体制を構築していく考えか伺います。 ③ 制度の周知や支援体制の充実に向けた今後の取組と課題について伺います。 (3) 身寄りのない高齢者等への支援について ① 身寄りのない高齢者等への支援の現状と課題をどのように認識しているか伺います。 ② 社会福祉法の改正により社会福祉協議会が事前契約による死後事務支援等を実施できるようになることを踏まえ、本町としてどのような支援体制を構築していく考えか伺います。 (4) 成年後見制度及び後見支援体制について ① 成年後見制度の見直しを踏まえた本町の対応について伺います。 ② 成年後見支援センターの運営状況と課題について伺います。 ③ 市民後見人の養成・活動状況と担い手確保に向けた今後の取組について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
4	長谷川かおり (議席番号 4 番)	2. 人と動物が共生できる地域づくりについて (1) 飼い主のいない猫及び飼育困難者への支援について ① 飼い主のいない猫、多頭飼育及び高齢者世帯の飼育困難の現状をどのように認識しているか伺います。 ② 地域住民による保護猫活動や譲渡活動への支援、北海道や関係機関との連携についての考えを伺います。 ③ 人と動物が安心して共生できる地域づくりに向けた今後の取組について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
5	飛島 宣親 (議席番号 5番)	1. 白老町DX推進計画に基づく取組の進捗と今後の展望について (1) 「誰一人取り残さないデジタル化」の支援策と推進体制について スマートフォンやパソコンに不慣れな高齢者等を取り残さないための具体的なサポート体制、DX推進計画の実施状況や成果・課題、役場内のDX推進チーム（DX推進委員会等）の活動状況について伺います。 (2) 町民サービスのDX推進とオンライン化の進捗について スマートフォン等でできる行政手続きの拡大やマイナンバーカードの活用状況、LINE公式アカウントなどを使った分かりやすい情報発信の現状と課題について伺います。 (3) AI等の新技術活用による役場業務の効率化について 会議録作成の自動化や生成AIなどの導入・検証状況、事務時間の削減効果、安心して使うためのルール（ガイドライン）整備について伺います。 (4) 地元事業者へのDX支援と素早い行政対応について 町内の中小事業者に対するデジタル化の支援状況と、変化の早い時代に対応したDX施策の進め方について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	貳又 聖規 (議席番号 10番)	1. 白老町公共施設適正配置計画の進捗と今後の施設再編について (1) 公共施設適正配置計画の進捗について ① 令和8年度で第2期を終えることから、これまでの進捗状況と課題、第3期に向けた取組について伺います。 ② 第3期には、役場庁舎をはじめ、町民生活に大きな影響を及ぼす施設の廃止、統合、移管、改修及び新築等が予定されています。公共施設再編における町全体のグランドデザインと今後の進め方について伺います。 (2) 新役場庁舎を核とした公共施設再編について ① 新役場庁舎の建設に向けた現在の検討状況と、総合保健福祉センター、図書館等を含む行政機能の統合・複合化について伺います。 ② 新役場庁舎を核とした公共施設再編の全体像を、いつまでに町民及び議会に示す考えか伺います。 (3) 町民温水プール及び総合体育館について ① 令和8年6月会議以降における庁内検討、関係団体及び町民等との協議の進捗状況について伺います。 ② 令和8年度中に示すとしている町民温水プール及び総合体育館の方向性について、判断基準と今後のスケジュールを伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	貳又 聖規 (議席番号 10番)	2. 再生可能エネルギー発電事業に関する条例改正後の効果と今後の対応について (1) 条例改正後の運用状況と効果について ① 「白老町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」の改正後における運用状況と、町内で計画されていた大規模太陽光発電事業の現在の状況について伺います。 ② 条例改正が事業計画の中止、変更、縮小または保留等に与えた効果について、町の評価を伺います。 (2) 今後の対応について ① 条例改正の効果及び対象事業の進捗状況を町民に公表する考えについて伺います。 ② 事業者や土地所有者の変更、事業規模の分割・縮小等による再計画への対応と、今後の監視・指導体制について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
7	森 哲也 (議席番号 11番)	1. 環境政策の現状と今後の在り方について (1) 白老町環境基本計画について ① 第3期計画の総括について伺います。 ② 今後の環境政策における重点を伺います。 (2) ゼロカーボンに向けた取組について ① 公共施設における再生可能エネルギー等の導入の考えを伺います。 ② 電気自動車及び充電スタンドの導入の考えを伺います。 (3) ごみ処理について ① リサイクル率の推移と向上策について伺います。 ② プラスチック類の分別収集と再資源化についての考えを伺います。 ③ 環境衛生センターは公共施設適正配置計画において統合対象の施設だが、統合先の候補を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	森山 秀晃 (議席番号 7番)	1. F C東京白老キャンプの成果について Jリーグのシーズン移行に伴い、本年7月に実現したJ1・F C東京の白老キャンプについて、地域経済への波及効果及び町民や子供たちへ与えた影響・効果に関する町の見解を伺います。 答弁を求める者 教育長
		2. 町民の暮らしを支えるインフラ整備の方向性について (1) 人口減少が進行する中で、上下水道事業の経営状況と将来を見据えた持続可能な整備・更新の方向性について伺います。 (2) 町道の舗装劣化（ひび割れや穴）が散見されますが、町民の安全確保の観点から道路補修・整備の考えについて伺います。 (3) 町内の街路樹や樹木が電線に接触している危険箇所への対応について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
9	水口 光盛 (議席番号 1 番)	1. ごみの減量目標の達成と施設管理について (1) 生ごみの減量化とリサイクル率の向上について ① 生ごみの減量目標の達成に向けた、生ごみ堆肥化容器等購入助成の拡大やさらなる普及促進策の検討状況について伺います。 ② プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行により、製品プラスチック等の再資源化が自治体の努力義務となったが、燃料ごみと燃やせるごみに混入しているプラスチック類の分別徹底及び再資源化に向けた検討の進捗状況について伺います。 (2) 登別市との広域処理の継続と最終処分場の管理について ① 本町のごみ処理は、令和21年度までクリンクルセンターの施設延命を図り、登別市と共同で広域処理する方針となっているが、今後想定される施設の延命化改修工事等における本町の財政負担の見通しについて伺います。 ② 本町の一般廃棄物最終処分場は、令和5年度に埋立容量の軽微変更を行い、約12年分の埋立容量を確保したが、白老町一般廃棄物処理基本計画の最終年度である令和15年度からわずか2年後に再び残余容量が限界を迎える見通しであることから、埋立量のさらなる削減策や、将来にわたる最終処分先の安定確保に向けた整備計画について伺います。 (3) 環境衛生センター旧焼却炉設備の撤去計画について ① 旧焼却炉設備や煙突の解体撤去に向けた建物の構造調査及びアスベスト含有調査の実施状況と、今後の撤去の進め方について伺います。 ② 多額の費用が見込まれる解体・撤去事業費について、国の補助制度や有利な地方債の活用など、本町の財政負担を軽減するための財源確保の見通しについて伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
9	水口 光盛 (議席番号 1 番)	2. バイオマス燃料化事業の廃止に係る進捗について (1) 未処理生成物の全量処分の完了に向けた進捗と総費用について ① 令和3年度時点で約3,000トン存在した未処理生成物について、令和8年度までの全量処理完了に向けた計画が示されていますが、現在の進捗状況を伺います。 ② 未処理生成物の全量処理が完了するまでに要する総費用の見込みについて伺います。 (2) 環境衛生センター等の代替施設としての有効活用策について ① 施設建屋の代替施設としての有効活用策について、現在の検討状況を伺います。 ② 代替施設としての再利用に伴う概算整備費と、今後の財政への影響について伺います。 ③ 代替施設としての有効活用が困難と判断された場合、建屋を解体・撤去し、土地を原状回復して地権者へ返還するために要する概算費用はどの程度と試算されているか伺います。 (3) 施設敷地の権利関係と今後の土地利用について ① 現在、地権者から土地を無償貸借している状況ですが、今後の土地利用に向けた具体的な協議・交渉状況と、今後の見通しについて伺います。 ② 施設建屋の有効活用策によっては、中長期的な施設の安定運営や財産管理の観点から、必要に応じて地権者から土地の購入を検討することも必要だと考えるが見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	広地 紀彰 (議席番号 13番)	1. 財政実態を踏まえたまちづくりの推進について (1) 令和7年度決算における財政指標、決算剰余金、財政調整基金や特定目的基金の積立てと取崩し、積立額等からみた財政運営の概況を伺います。 (2) 令和7年度決算の総括、歳入歳出面での特徴や今後の見通し、注視すべき事項を伺います。 (3) 行財政改革推進計画後期実施計画の基本方針3における健全な財政運営に関する取組実績、成果と課題、今後の実現方策を伺います。 (4) 財政の実態を踏まえ、行財政改革推進計画後期実施計画の基本方針4に掲げられた今後見込まれる公共施設の存廃、更新に係る大型事業費の見通しと、実現に向けた課題と解決の考えを伺います。 (5) 令和8年度予算の執行状況について、当初予算と速報値との対比、概況を伺います。 (6) 令和8年度の主な歳入歳出の懸案と、解決の方策を伺います。 答弁を求める者 町 長